

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 80
1988年
1-2月号

謹 賀 新 年

本年もよろしく

お願い申し上げます。

昭和63年元旦

幹事一同



☒ 行事案内

手賀沼探鳥会とカウント

月 日 1月10日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
(正午頃解散)
案 内 オカヨシガモ、ミコアイサその他、
冬の手賀沼は野鳥の楽園です。防寒具
は十分に。
担 当 坂巻、飯泉、小池、畑

ガン・カモ類一斉カウント

月 日 1月15日(祭)
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 例年のとおり行ないます。初心者
の方も歓迎いたします。調査地は手賀沼
が中心です。
担 当 坂巻、飯泉、木村、小池

鳥を見る会(どこかで)

月 日 1月24日(日)
集 合 我孫子駅改札口 午前9時
案 内 鳥情報によって強行にならない鳥見
をする予定です。よい情報がなければ
上野動物園と不忍池になるかも知れま
せん。
持 物 昼食は現地或は途中調達です。
温かい飲物をご持参下さい。
世話人 高橋、川端、柴田
問合せ先 高橋(82)2783

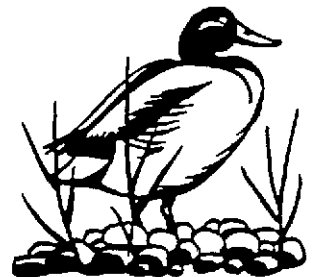


酒沼・大洗・銚子探鳥ツアー

月 日 2月6日(土)～7日(日)
集 合 6日午前9時 我孫子中央公民館
(手賀沼公園東隣にあります。)
宿 泊 茨城県酒沼湖畔荘(0292-93-7228)
持 物 防寒具、6日の昼食、洗面用具、
雨具
参加費 15,000円(宿泊・交通費他)出
発時に集めさせていただきます。
案 内 関東近郊の探鳥地の中でも指おりの
冬鳥飛来地を訪ねます。大洗ではカモ
メ類、ウミスズメ類、酒沼ではカンム
リカイツブリ、ガンカモの仲間やワシ
タカの仲間を期待してみます。いろい
ろな出会いのあとは、アンコウ鍋で乾
杯をして語り合います。
7日の帰路は銚子港でカモメ類やチ
シマツギにあいさつして、魚市場にも。
申込先 飯泉(0471-43-7403)20名まで。
担 当 飯泉 仁・久美子

手賀沼探鳥会とカウント

月 日 2月14日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 この月も手賀沼では鳥の最も多いと
き、さて変わったカモはいませんか?
カウント班のお手伝いもよろしく。
担 当 坂巻、飯泉、小池、赤尾



◎ 行事報告

○ 手賀沼探鳥会(10月11日晴曇)

深谷幸枝

今日は県支部と合同探鳥会で、手賀沼は初めてと云う方も多かった。その中でも、メリールイスさんのステキなお母様が、田丸さん御夫妻と一所に参加して下さった事で、一層和やかな探鳥会となった。総勢50数名、車12台と云う豪華版で、第一目的地の下沼へ…

最初の出合いが、何と玉鳴3羽、沼の傍の^{ヒツミツグ}棚田に、肉眼でも見える近さにいた。交替でプロミナーを覗かせていただく。胸の白線と背の外側の黄色い線、それに丸い大きな目、探餌をし乍らゆっくりと左の方へ歩いて行く。

玉鳴は雌の方が派手な色彩で、雄が抱卵、育雛をするとか、この玉鳴も雄1、幼鳥2とのことだった。

下沼は、まだ水鳥の種類も数も少かった。私達は穂芒と芦の風に揺れる。細い川の縁を歩いた。秋草の中に、水引草と犬蓼の赤が眼にしみる。稲刈の終わった田の中に、二等辺三角形のような藁ポッチが沢山並んでいる。そのポッチの上に小鳥らしいものが動いている。

双眼鏡で見たが逆光でよく分からない、県支部の小山さんが、ノビタキと教えて下さった。プロミナーを覗くと胸から腹の橙黄色が美しい。10羽位いたのだろうか、一ヶ所にこんなに見られるのは、珍しいとのこと……

次に上沼に車で移動することになった。途中で、前を行く車が次々停って、サンバが渡っているらしいと云う声。車から飛び出して双眼鏡で見ると、遙か南の空、雲の間に少し出ている青空に、点々と黒い鳥のシルエットが見えた。以前伊良湖岬で見たサンバの渡りと比べると数は少いが、あの光景と似ている。

アッ渡って行くと思うと、胸にジュンとくるものがある。でもサンバではなくユリ鷗ら

しいとわかってカクン。嘘でもいいサンバの渡りと思っていたかった。とは私の馬鹿な独り言。

上沼で私達を待っていてくれたのは、待望のカワセミだった。沼の遠い杭の先に、コバルトブルーの個体が背を向けてプロミナーの中に入っている。突然横をむいて大きな嘴と頭を見せてくれた。距離が遠いので魚を採る様子は見られなかったが、飛んだ、止った。と誰かの弾んだ声、一度見たら忘れられない鳥の一ツと思う。

上沼には数種の水鳥が来ていたが。羽の色は、まだ夏羽と冬羽の間で、冴えた冬羽の美しさは無く、手賀沼の貴重なお客様、オカヨシ鴨の姿もまだ見られなかった。

帰り道、車の中から白セキレイが2羽、畑の中にいるのが見えた。

お天気も暑からず、寒からず、数種類の珍しい鳥との出合も、心ゆくまで堪能することが出来て、「少し出来過ぎですよ」と云う幹事さんの嬉しい声もあり、一同大満足の手賀沼探鳥会であった。

〈認めた鳥〉 カイツブリ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、オオバン、タマシギ、タカブシギ、タンギ、ユリカモメ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ショウドウツバメ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ノビタキ、セッカ、シジュウカラ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、計33種

〈参加者〉 梅沢幸雄、安本昌彦、川端英雄、船木邦康・久子、村井 治・登代、野村真一、金子光彦・良子、吉池良一・みち、柴田五郎、首藤佑吉・美恵子、中 弘、木原葉子、木下 彰、畑 幸正・久子、金子厚子、田丸喜昭・メリールイス、メリーマナー、國安輝久・テル子、小野勝義、八嶽祐介、高口英子・静子、小滝清雄、兼田明夫・稔子、

鈴木英男、斉藤文雄、尾谷司良、小野勇亮、
大野真澄・敦子、戸谷輝夫・満智子、立川利
久、関根 修、西巻 実、赤尾 完、水村国
雄、新保秀一・京子、坂巻忠雄、高橋敏夫、
西城 猛、小山 駿、飯泉 仁・久美子
以上 54名

○ 螢池の改修作業(10.25)

坂巻忠雄

朝の中雨が残っていたが、池の作業を始め
る頃には薄日も出た。今日の作業は池の中に
土を盛り畦のようなものを作り、螢の幼虫が
サナギになり羽化する場所を作る。市役所の
協力で必要な丸太や土が用意されていた。

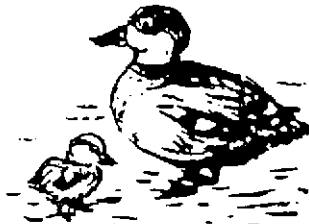
まず池の葦を刈り丸太を選び足場を作った。
バケツに土を入れリレー式で運ぶ、昨日から
の雨をたっぷりすいこんだ土は重い。

「あびこ広報」をみて参加してくれた女性
の方もまじえて皆さん顔を上気させて頑張っ
た。病氣療養中の中尾さんも元気な顔を見せ
応援してくれた。午前中で幅50cm長さ5m
位の畦が出来上った。

昼食は女性の方々が熱いケンチン汁を作っ
てくれていた。2杯、3杯とおかわりをする。
おにぎりも美味しかった。

皆さんの顔には一仕事終わった満足感が溢れ
ていた。

<参加者> 首藤佑吉・美恵子、大野真澄、
木村 稔、赤尾 完、深谷幸枝、水村国雄、
中尾照平・米子・令息、高橋敏夫、坂巻忠雄
池本加代子(広報を見て参加) 以上13名



○ 巣箱作り 11月8日

國安テル子

朝、目がさめたら雨が激しく降っていた。
今日のバードウォッチングは望みなしか、
でも天気予報では晴れると云っていたし、ベ
ッドからなかなか出られない。そのうちパタ
ッと雨がやんだ。天気はどんどん回復して晴
天。そして午後の部の巣作りにも参加。

まだびっしょりぬれている香取神社の石段
を木の実をふみながら登る。朽ちた木の葉の
匂いが満ちている。こういう自然の匂いは心
を落ち着かせる。うっすらと寒い。木々を通
して手賀沼がキラキラと光っている。巣箱作
りには思ったより手間がかかった。皆さんに
助けていたぶいたりワイワイ楽しく時が過ぎ
た。最後に川端さんが作られたエサ箱とジュ
ース入れを買った。アイデア一杯のなんとも
可愛らしいもので、我が家の小さな庭も又
少し楽しくなって、私と鳥たちを喜ばせて
くれることでしょう。

○ 手賀沼カウント

調査日時 62. 10. 11(くもり) 9:20~12:00			
<調査者> 飯泉 仁・久美子			
鳥 種	上 沼	下 沼	計
カイツブリ	3	3	6
コサギ	7	10	17
ダイサギ	2	5	7
アオサギ	2	2	4
カルガモ	20	147	167
コガモ	12	60	72
オナガガモ	6	25	31

ハシビロガモ	3	—	3
ヒドリガモ	—	4	4
バン	1	—	1
オオバン	2	7	9
タマシギ	—	3	3
タカブシギ	1	—	1
ユリカモメ	9	11	20
カワセミ	1	—	1
計 15種	69	277	346

カワセミ	1	—	1
計 19種	364	481	845

〈他に認めた鳥〉 ゴイサギ、ハヤブサSP、キジバト、ヒバリ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、シメ、オナガ、ハシボソガラス
計18種 合計37種

〈探鳥班参加者〉 名簿未着につき次号に記載します。

追 補

調査日時 6.2. 11. 8. (晴) 9:20~12:00			
調査者 飯泉 仁・久美子、小野勝義、 志賀鉄雄、小池 忠、坂巻忠雄 以上6名			
鳥 種	上 沼	下 沼	計
カイツブリ	28	3	31
カンムリカイツブリ	1	—	1
ヨシゴイ SP	1	—	1
ダイサギ	10	2	12
コサギ	1	14	15
アオサギ	15	4	19
マガモ	2	128	130
カルガモ	173	182	335
コガモ	47	45	92
オカヨシガモ	4	—	4
ヒドリガモ	—	1	1
オナガガモ	4	1	5
ハシビロガモ	34	42	76
ホシハジロ	—	19	19
スズガモ	1	—	1
バン	1	—	1
オオバン	21	34	55
ユリカモメ	20	6	26

調査日時 6.2. 6. 14. (曇) 9:30~12:00			
〈調査者〉 飯泉 仁・久美子 安本昌彦 以上3名			
鳥 種	上 沼	下 沼	計
カイツブリ	6	4	10
ヨシゴイ	—	2	2
ゴイサギ	1	1	2
アマサギ	—	6	6
ダイサギ	—	2	2
コサギ	—	5	5
カルガモ	18	26	44
コガモ	—	1	1
オオバン	13	5	18
コアジサシ	3	9	12
計 10種	41	61	102

〈他に認めた鳥〉 コジュケイ、キジ、キジバト、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、セッカ、オオヨシキリ、シジュウカラ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス

計17種 合計27種

<探鳥班参加者> 木原葉子、川端英雄、木下洋子・彰、首藤佑吉・美恵子、中尾米子、村井 治・登代、柴田五郎、西巻 実、豊島雅和、梅沢幸雄、関根 修、赤尾 完、坂巻忠雄、高橋敏夫、西城 猛 以上18名

なお、6.2.5.17.のカウントは雨のため中止いたしました。

“鳥だより”

- 10. 10 [中央学院大学] ツバメ
ショウドウツバメ
- 10. 15 [白山下アシ原]
ツバメ(50~60)
- 10. 24 [手賀沼公園ボート乗り場]
カワセミ(1)
以上 木原葉子
- 10. 30 [高野山] ジョウビタキ
[下沼遊歩道] ウグイス
アオジ、オオジュリン
以上 高橋敏夫
- 10. 31 [下沼] カンムリカイツブリ
(1) 飯泉 仁
- 11. 2 [高野山] ツグミ 高橋敏夫
- 11. 17 [中峠みどり台] トラツグミ
(1) 島崎純造

11. 19 [上沼] チュウビ(1)
志賀鉄雄

11. 19 [上沼大津川河口]
オオハクチョウ(幼1)
志賀鉄雄、高橋敏夫

12. 1 [上沼遊歩道夜] コミミズク
笹川昭雄

11. 14 [柏十余二] PM7:30
フクロウ 大野真澄

北新田~江蔵地 の利根川河川敷のあたりは、ノスリ、チョウゲンボウ、コミミズク等観察している方がいる筈です。鳥信お願いします。(高野山161-9 高橋敏夫)

後記に代えて

昨年は11月のウタツグミ(横浜)にはじまって、ヒメハマシギ、ズグロカモメ、オオハシシギ、コキアシシギ、アカハシヘジロ、コクガン等珍鳥や比較的珍らしい(この辺では)鳥の情報がありました。それで「鳥を見る会(どこかで)」を企画してみました。

昨夏の市内ツバメ調査では、会員の方々に調査から集計までご協力いただきましたこと厚く御礼申し上げます。本年も引続き調査を行なう予定です。よろしく御協力お願いいたします。

高橋記

我孫子野鳥を守る会会報 第80号

発行人 坂巻忠雄 TEL (0471)82-2268
 住所 我孫子市白山2-13-13
 振替 東京 4-51628
 我孫子市湖北台7-1-401 中尾方
 我孫子野鳥を守る会 坂巻忠雄
 会費 年額 1,500円 (中学生以下500円)

